

令和2年度第1回亀岡市環境審議会議事録

- 開催日時 令和2年8月5日（水） 午後2時00分～午後3時30分
- 開催場所 亀岡市役所 別館3階 会議室
- 出席者 山脇委員、山川委員、田部委員、櫻井委員、塚本委員、稲村委員、高澤委員（会長）、太田委員、桜田委員、吉川委員、笠井委員
浦幹事、吉村幹事、並河幹事、由良幹事
（事務局5名）
- 欠席者 井内委員

1 会長挨拶

2 審議事項

(1) 第2次亀岡市環境基本計画の令和元年度の取組状況について

意見・質問	回答
2頁の水質浄化の「京都府南丹保健所と連携して原因調査及び再発の防止を図った。」とあるが、具体例の記載があれば今後の調査や防止に活きると思う。	(意見のみ)
2頁の水質浄化の「美しい山河を守る災害復旧基本方針に基づく設計施工を行った。」とあるが、具体的に何を行ったのか。	具体的な内容を確認し、次回の審議会で報告する。
3頁の「不法投棄対策」に1件検挙したとあるが、その概要を教えてほしい。	昨年12月に葺田野町柿花地内の河川内で発生したものである。 投棄者が特定できなかったため、最終的にはごみの所有者が処理をされたものである。
4頁、6頁に記載の「京都学園大学」は、「京都先端科学大学」の誤りである。	京都先端科学大学の誤りであるため、訂正する。
7頁の「NPOの育成」で、環境に取り組む団体数と交付金額を記載すべき。	6団体中、環境に取り組む団体は1団体である。今後、記載の仕方を改める。
7頁の亀岡市支えあいまちづくり協働支援金の目的は何か。対象となるのは環境問題だけなのか。	市民活動団体の自主的な取組に対して補助金を交付するものであり、取組内容は環境問題に限られたものではない。

(2) 第2次亀岡市環境基本計画の見直しについて

意見・質問	回答
<p>環境基本計画推進会議の委員構成はどのようなになっているのか。また、広く市民の意見が反映できて、環境問題について広く議論する組織なのか。</p>	<p>委員構成は、市民、事業所、行政の関係者などとなっている。当初の亀岡市環境基本計画の策定の際、広く市民からの意見を聴くことを目的に「亀岡市市民会議」を設置し、その後の名称変更などで、現在の「亀岡市環境基本計画推進会議」となっている。</p>
<p>市民アンケートの対象者はどのように決めるのか。</p>	<p>住民基本台帳の情報から無作為抽出することとしている。</p>
<p>市民アンケート3,000部、事業所アンケート50部とする考え方は何か。これらの部数で市民・事業所を過不足なく網羅できるのか。</p>	<p>部数は第2次亀岡市環境基本計画（現計画）策定時に行ったアンケートと同部数としている。前回の有効回答数は市民アンケートが1,277人、事業所が26社という結果になっている。部数については、もう少し検討する必要があると考えている。</p>
<p>郵送以外にインターネットなどの新たな方法を模索してはどうか。</p>	<p>環境審議会の意見を踏まえ、亀岡市基本計画推進会議で検討する。</p>
<p>亀岡市基本計画推進会議で活発な議論をするには、現計画の目標、達成度などの具体的な資料が必要である。</p>	<p>亀岡市基本計画推進会議に向けて資料を準備する。</p>
<p>市民が取り組みやすいものとして「SDGs」の達成も新たな課題として基本計画に盛り込んでほしい。</p>	<p>環境審議会の意見を踏まえ、亀岡市基本計画推進会議で検討する。</p>
<p>資料の3の(2)のアの(イ)に「地球環境・省エネルギー」とあるが、地球温暖化に限定されている。生物多様性、森林環境、海洋環境も地球環境であるので見直してほしい。</p>	<p>環境審議会の意見を踏まえ、亀岡市基本計画推進会議で検討する。</p>
<p>世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞などによって、温室効果ガス排出量が減るといった現象が起こっている。また、我々も在宅勤務やリモート会議などで働き方も大きく変わりつつある。新型コロナウイルスを経験したその後の政界を見据えた項目を入れて亀岡市の特徴の一つとして打ち出してはどうか。</p>	<p>環境審議会の意見を踏まえ、亀岡市基本計画推進会議で検討する。</p>

3 報告事項

(1) かめおかプラスチックごみゼロのまちに向けた取組について

4 閉会